



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ゆめが丘大規模集客施設新築工事(センター地区Ⅱ)	階数	地上3F
建設地	横浜市東区下飯田町49街区(奥ゆめが丘地区土地区画整理事業49街区)	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年10月06日
敷地面積	8,186 m ²	作成者	須田 敏明
建築面積	6,521 m ²	確認日	2022年10月8日
延床面積	16,116 m ²	確認者	森村 幹夫

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 78% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合		その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。	Q2 サービス性能 売場の天井高3.5m以上。そして、給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。また、[壁長さ比率] < 0.1。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー [BEI][BEIm]=0.69	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が78%。そして、燃焼機器を使用しません。また、光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



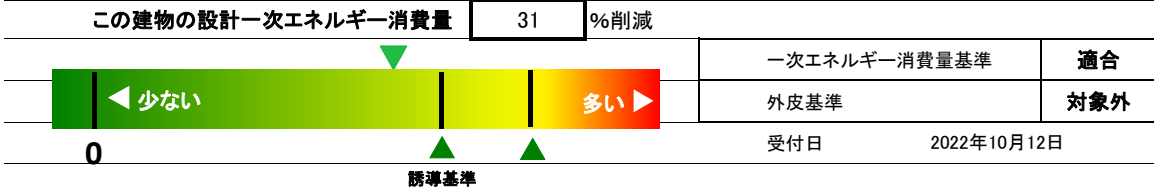
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ゆめが丘大規模集客施設新築工事(センター地区Ⅱ)**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③[BEI][BEIm]=0.69

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
				Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境										2.8
1 音環境				3.4	0.15	-	-			3.4
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音				5.0	0.40	-	-			-
1 開口部遮音性能				5.0	1.00	-	-			-
2 界壁遮音性能				-	-	-	-			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-			-
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-			-
2 温熱環境				2.1	0.35	-	-			2.1
2.1 室温制御				2.5	0.50	-	-			-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.43	-	-			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.21	-	-			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.36	-	-			-
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-			3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.52	-	-			-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	-	-			-
3.2 グレア対策				-	-	-	-			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.48	-	-			-
4 空気環境				3.3	0.25	-	-			3.3
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境	4.0	1.00	-	-			-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-			-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	-	-			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	-	-			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	-	-			-
4.3 運用管理				2.0	0.20	-	-			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境	1.0	0.50	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.9
1 機能性				2.8	0.40	-	-			2.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30	-	-			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.33	-	-			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.33	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.33	-	-			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	1.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.1	0.30	-	-			3.1
3.1 空間のゆとり				3.6	0.30	-	-			-
1 階高のゆとり				2.7	0.60	-	-			-
2 空間の形状・自由さ				5.0	0.40	-	-			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.4

ゆめが丘大規模集客施設新築工事(センター地区Ⅱ)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.36	-	-	
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-			1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	1.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	1.0	0.20	-	-			1.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.4	0.50	-	-			4.4
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			2.7
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-			3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-			2.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.5
1 地球温暖化への配慮				3.8	0.33	-	-			3.8
2 地域環境への配慮				3.4	0.33	-	-			3.4
2.1 大気汚染防止				5.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	1.00	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目						-	-			-
<事務用途>						-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-			-
<住宅用途>						-	-			-
健康と安心						-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-			-